

腎糖尿病内科研修の紹介



内科専攻医 2年目 山口医師

これまでのローテーション

4~6月	7~9月	10~11月	12月~3月
総合診療	ER	腎糖尿病	消化器
循環器	呼吸器		

☑研修実績 …手術数、患者数など

・主な疾患:

糖尿病教育入院や透析導入入院、急性腎不全や高血糖緊急症などの急性期疾患、膠原病、その他様々な疾患

・平均受け持ち患者数: 5~10人

☑特徴（魅力） …強み、他院との違い、指導体制、カンファレンスなど

- ・カルテ回診はほぼ毎日。気軽に相談できる。
- ・週一回の多職種回診で診断・治療・栄養管理・退院後の生活支援まで、すべてを学べる。
- ・糖尿病多職種カンファレンスで全人的な糖尿病管理を学べる。
- ・希望があれば透析回診を担当できる。透析患者さん管理の機微を学べる。
- ・総合力と専門性を兼ね備えた、頼もしい指導医の先生方。
- ・学会発表も盛ん。

☑初期研修医へのメッセージ

初期研修中の皆さんの中には、「将来専門医志望だが、地力に不安がある。総合的な内科力を身につけてから専門科に進みたい」と考えておられる方も多いのではないのでしょうか。当院の腎糖尿病内科研修をぜひおすすめしたいと思います。当科の特徴は、糖尿病・腎疾患はもちろんのこと、膠原病やそれに関連した肺疾患、免疫不全を背景としたあらゆる感染症等、さまざまな病を抱えた患者さんの診断・治療をおこなっていることにあります。多彩な疾患に立ち向かう力を身につけることができます。内科医として欠かせない糖尿病・腎機能障害の管理、人工呼吸器・緊急透析など重症管理も経験できます。指導医の先生方は優しく相談しやすく、とても有難いです。本研修を終えたとき、医師としてひとまわりもふたまわりも大きく成長していること間違いなしです。ぜひ一度見学にどうぞ。